

LIBERA

[リベラ]

VOLUME
87
2018

“本格” 経営学部、 はじまる。

2019年4月 経営学部スタート!

FACULTY OF
BUSINESS ADMINISTRATION



大阪経済法科大学

kirari
活躍する
経法生



女子ソフトボール部
[主将]

伴 真衣さん
法学部 法律学科 3年生
大阪府 星翔高校出身

単独チームでのリーグ戦出場。
それが、第二の目標です。

本学の男子ソフトボール部は、2016年に2部リーグに昇格し、全日本選手権大会に出場するなど、近年めざましい活躍を見せています。そんなソフトボール部に、待望の女子チームが誕生。少しずつではありますが、活動を本格化させてあります。今回はこの女子ソフトボール部で主将を務める伴真衣さんに、チームの現状や目標、チームへの自身の想いなどについて、語ってもらいました。

初のリーグ戦で発揮できた、男子との合同練習の成果。
ソフトボール部の女子の選手数は、現在7名。試合出場に必要な人数である9名には、まだ達していません。ですからリーグ戦には、他大学との合同チームで出場しています。とは言え、私が入部する2年前まで、本学のソフトボール部に、女子の選手は一人もいませんでした。そんなゼロの状態から立ち上げて、ようやく形になってきたのが、現在の私たちのチームです。

私ともう一人、女子選手2名で活動し始めた頃、2人ではキャッチボールしかできないので、練習はいつも男子部員と一緒にしました。翌年、新入生が何名か入部。目標の選手数9名には届きませんでした。同じように選手不足に悩んでいた京都学園大学女子ソフトボール部と出会い、2017年の秋季リーグ戦に合同チームで初出場を果たしました。

選手として、主将として、日々の経験が自身の成長に。
私は高校まで柔道部でソフトボールは未経験でした。大学では学業優先で部活はしないうちでしたが、友人の誘いでソフトボール部に入ったことを、今は良かったと感じています。



02 【特集】
“本格”経営学部、
はじまる。

- ▶ 巻頭対談
高橋 慎二教授 × 吉田 雄輝さん ×
水木 彩さん
- ▶ 収容定員増ならびに
経営学部開設が決定しました。

06 クローズアップ経法
CLOSE UP KEIHO

- ▶ 体育会 テコンドー部
小山内 海斗さん
- ▶ 新入部員&新サークルから一言
[陸上競技部] 奥山 知宙さん
[囲碁部] 河野 智洸さん
[百人一首かるた同好会] 森岡 朋美さん
- ▶ 北京大学創立120周年記念式典
- ▶ 女子ワークショップ・交流会
- ▶ 2018年度春学期クラブ活動戦績

08 2018年度大学事業計画の概要

12 kirari 活躍する経法生
ソフトボール部／伴 真衣さん

2018年 7月30日発行
【編集】 大阪経済法科大学事務局庶務課
〒581-8511 大阪府八尾市楽音寺6丁目10番地
TEL 072-941-8211 FAX 072-941-4426

<http://www.keiho-u.ac.jp>

知識や理論を得て現場へ。

高橋 ◎ 本学がキャンパスを構える八尾市は、ものづくりに携わる中小企業が数多く育ってきた街です。そんな八尾市と本学は2013年に包括連携協定を締結。その一環として、高橋ゼミでは八尾市とともに「産業振興 まちづくりにかんする調査研究」の長期プロジェクトを推進し、市内の中小企業、商店、市役所などと、多彩な取り組みを繰り



ん。まずは中小企業がいまどんな経営課題を抱えているのかといったことを専門書や白書などから学び、それから現場に出て実状と照らし合わせ、実感として理解を深めるのです。

水木 ◎ 経営者の方が人手不足で困っていると話されるのを聞き、「事前に読んできた資料と同じだ」と思いましたし、逆に「この点は資料と実状とで少し違いがあるのでは？」と感じたこともあります。

高橋 ◎ 知識や理論は現状を見通すために必要な道具になります。しかし、それだけでは十分でないことも実践活動を通して知ることができるのです。それは、さらに知識や理論を修得していくとするモチベーションにつながります。

継続的なプロジェクトが
いくつも同時に進行中。

吉田 ◎ 企業や市役所などの協働プロジェクトが、長期的視野でいくつも同時に進められているのが、このゼミの面白いところだと思います。例えば商店街の活性化に向け、「フリーペーパーを作って情報発信を」とこのゼミで立案されたのは、僕が入学するより前のこと。その後、先輩たちが毎年このフリーペーパー「やおせレクシヨ」の企画制作に取り組み続け、昨年引き継いだ僕たちの手で4号目を刊行することができました。

高橋 ◎ 記事の内容も年々良くなっ



八尾の商店街情報を発信するフリーペーパー「やおせレクシヨ」。ゼミ生たちが企画制作し、現在、4号まで刊行。

吉田 雄輝さん
経済学部 3年生 | 鹿児島県立沖永良部高校出身
「故郷の沖永良部島に恩返しできる仕事に就く」というのが将来の夢。高橋ゼミでは3年生のゼミ長。男子バレーボール部に所属し、学友会の体育会クラブ本部長も任されている。

高橋 慎二教授 [博士(経済学)]
経済学部 | 専門分野 / 中小企業研究
八尾市の中小企業と密接に関わり合いながら、中小企業の経営問題等の研究を推進。その成果を発揮し、2019年4月に、新設する経営学部で教育を担う。

水木 彩さん
経済学部 2年生 | 山口県桜ヶ丘高校出身
高橋ゼミの2年生ゼミ長。オープンキャンパススタッフとしても活躍。卒業後は銀行など金融機関への就職を希望しているが、ゼミでの学びを通じて起業にも関心を抱くように。



【特集】 SPECIAL FEATURE

“本格”
経営学部、
はじまる。

FACULTY OF
BUSINESS ADMINISTRATION
CROSS TALK
PROFESSOR & STUDENTS

2019年4月、新たにスタートする本学の経営学部。
その特色の一つとして重視される「知識・理論の学修」に
「現場での実践的な学修」を連動させたゼミを展開してきた
高橋慎二教授と学生たちとの座談会を実施。
本学で経営学を学ぶことの魅力について、語り合ってもらいました。

収容定員増 ならびに 経営学部開設が 決定しました。

FACULTY OF BUSINESS ADMINISTRATION

2018年7月2日付で、文部科学大臣より収容定員増が認可され、合わせて、6月29日に経営学部の設置届出が受理されました。これにより、2019年4月からの経済学部
の収容定員増並びに経営学部の開設が正式に決定しました。概略は以下のとおりです。

【 経済学部経済学科の定員増 】

入学定員160人を入学定員200人
(収容定員800人)

【 経営学部の開設 】

名 称：経営学部経営学科

学 位：学士(経営学)

入学定員：200人(収容定員800人)

2014年度からの経済学部2学科体制の下での教育
実践と実績をさらに発展させ、2019年度からの経済学
部経済学科及び経営学部経営学科における、それぞ
れの養成する人材像の実現に向けた教育の質保証を
図るため、一層の努力を積み重ねてまいります。



**本学の「本格」経営学は、
理論→実践→理論の
学びのサイクル。**

高橋〇ハローワーク布施との協働で
昨年から取り組んでいる、八尾のも
のづくり企業における人材確保の
あり方を探るプロジェクトも、今後

で、想いの強さをいっそう感じまし
た。その想いに応えられるよう、応
援ポスターに産後ママの声を盛り込
むなど工夫をこらし、当日の応援プ
レゼンも満足できる内容にできま
した。
高橋〇関係者の方々にも好評で、
「次回以降も」といった声もいただ
いています。何より、みなさんが起
業家たちのビジネスに懸ける情熱を
肌で感じ取ることができたのは、素
晴らしい収穫でした。

CROSS TALK PROFESSOR & STUDENTS

さらに活発化させます。
水木〇このプロジェクトに向けて、
多くの新聞記事などの資料を先生
から預かっているのですが、今の自
分の知識では理解しきれない内容
も多いので、まずはこれを理解する
ための知識について、他の本を読ん
で勉強しています。
高橋〇企業は異質多元な存在です
から、万に一つも同じものはないの
です。経営学の知識や理論は平均
的なものをまとめているにすぎませ
ん。このように実践を通して多くの
ケースにあたることで知識や理論が
より広く、深くなると考えます。そ
れが本学の考える「本格」経営学の
あり方です。



高橋〇商品開発やイベント集客な
どの課題に取り組むのも、経営学
の実践学習としてとても意義深い
ことです。一方で「国や地方が抱え
ている課題が経営課題になる」とい
う切り口での取り組みも、新しい
経営学部での学びの一つの柱とし
たい。行政をも巻き込んだ、地域
企業の経営課題への取り組みが、
地方創生の一助にもなる。それも、
本学の考える「本格」経営学のあり
方の一つです。

高橋〇最初は袱紗というものが何
なのかも知りませんでした。だから
こそ固定観念にとらわれないアイ
デアが出せると考え、アンケート調
査にも取り組み、袱紗の現状と可
能性を探っていたのです。

水木〇私は高橋ゼミに入る前の1
年生の時、そのアンケートに答えて
いるんですよ。「ゼミって、かなり本
格的な取り組みをするんだな」と、
驚かされました。

高橋〇ものづくりの中小企業の多
くは、マーケティングの部門を持って

吉田〇最初は袱紗というものが何
なのかも知りませんでした。だから
こそ固定観念にとらわれないアイ
デアが出せると考え、アンケート調
査にも取り組み、袱紗の現状と可
能性を探っていたのです。

水木〇私は「第2回八尾地域クラ

**起業家の想いにふれ、
ビジネスの厳しさを実感。**

水木〇私は「第2回八尾地域クラ

高橋〇伝統的な袱紗を製造販売
している有限会社大一創芸とのプ
ロジェクトは、昨年から本格的に動
き始めましたね。祝儀袋や香典を
入れる袱紗は、現代ではその存在
価値が薄れつつある。本来の用途に
も使える新しい袱紗を考案し、こ
れからの世代が「欲しい」と感じる
商品を創り出そう、という取り組
みです。

吉田〇有限会社大一創芸とは今も
引き続き商品の協働開発を進めて
います。雑貨の見本市として国内
最大規模の「東京インターナシヨ
ナルギフト・ショー」への出展が、大
きな目標。それに見合った本格的な
商品が作れるよう、工場見学にも出
向き、改めてリサーチやディスカッ
ションを重ねていますよ。

高橋〇産学協働にあたり、企業が
学生に期待を寄せてくれる一方で、
私は企業に「学生の嗜れ舞台を用
意してあげてほしい」というお願い
をしています。商品化もそうです
し、大きな舞台での発表の機会な
ども。それが、高いモチベーションに
つながりますからね。

吉田〇「まず何か作ろう」
と、経法祭で販売するリーズナブル
な商品の企画開発に取り組みまし
た。アンケートなどの調査結果をふ
まえ、チームごとに案を出し、社長
にプレゼンを行った結果、僕たちの
チームが発案した「巾着袋にもなる
袱紗」が選ばれたんです。最終的に
商品として完成した時は、本当にう
れしかったです。実際に昨年の経法
祭で販売し、大きな反響を呼ぶこ
とができました。

高橋〇「伝的な袱紗を製造販売
している有限会社大一創芸とのプ
ロジェクトは、昨年から本格的に動
き始めましたね。祝儀袋や香典を
入れる袱紗は、現代ではその存在
価値が薄れつつある。本来の用途に
も使える新しい袱紗を考案し、こ
れからの世代が「欲しい」と感じる
商品を創り出そう、という取り組
みです。

水木〇「私は「第2回八尾地域クラ

**起業家の想いにふれ、
ビジネスの厳しさを実感。**

水木〇私は「第2回八尾地域クラ

高橋〇伝統的な袱紗を製造販売
している有限会社大一創芸とのプ
ロジェクトは、昨年から本格的に動
き始めましたね。祝儀袋や香典を
入れる袱紗は、現代ではその存在
価値が薄れつつある。本来の用途に
も使える新しい袱紗を考案し、こ
れからの世代が「欲しい」と感じる
商品を創り出そう、という取り組
みです。

吉田〇「まず何か作ろう」
と、経法祭で販売するリーズナブル
な商品の企画開発に取り組みまし
た。アンケートなどの調査結果をふ
まえ、チームごとに案を出し、社長
にプレゼンを行った結果、僕たちの
チームが発案した「巾着袋にもなる
袱紗」が選ばれたんです。最終的に
商品として完成した時は、本当にう
れしかったです。実際に昨年の経法
祭で販売し、大きな反響を呼ぶこ
とができました。

高橋〇「伝的な袱紗を製造販売
している有限会社大一創芸とのプ
ロジェクトは、昨年から本格的に動
き始めましたね。祝儀袋や香典を
入れる袱紗は、現代ではその存在
価値が薄れつつある。本来の用途に
も使える新しい袱紗を考案し、こ
れからの世代が「欲しい」と感じる
商品を創り出そう、という取り組
みです。

水木〇「私は「第2回八尾地域クラ

**起業家の想いにふれ、
ビジネスの厳しさを実感。**

水木〇私は「第2回八尾地域クラ

高橋〇伝統的な袱紗を製造販売
している有限会社大一創芸とのプ
ロジェクトは、昨年から本格的に動
き始めましたね。祝儀袋や香典を
入れる袱紗は、現代ではその存在
価値が薄れつつある。本来の用途に
も使える新しい袱紗を考案し、こ
れからの世代が「欲しい」と感じる
商品を創り出そう、という取り組
みです。

吉田〇「まず何か作ろう」
と、経法祭で販売するリーズナブル
な商品の企画開発に取り組みまし
た。アンケートなどの調査結果をふ
まえ、チームごとに案を出し、社長
にプレゼンを行った結果、僕たちの
チームが発案した「巾着袋にもなる
袱紗」が選ばれたんです。最終的に
商品として完成した時は、本当にう
れしかったです。実際に昨年の経法
祭で販売し、大きな反響を呼ぶこ
とができました。

高橋〇「伝的な袱紗を製造販売
している有限会社大一創芸とのプ
ロジェクトは、昨年から本格的に動
き始めましたね。祝儀袋や香典を
入れる袱紗は、現代ではその存在
価値が薄れつつある。本来の用途に
も使える新しい袱紗を考案し、こ
れからの世代が「欲しい」と感じる
商品を創り出そう、という取り組
みです。

水木〇「私は「第2回八尾地域クラ

**起業家の想いにふれ、
ビジネスの厳しさを実感。**

水木〇私は「第2回八尾地域クラ

高橋〇伝統的な袱紗を製造販売
している有限会社大一創芸とのプ
ロジェクトは、昨年から本格的に動
き始めましたね。祝儀袋や香典を
入れる袱紗は、現代ではその存在
価値が薄れつつある。本来の用途に
も使える新しい袱紗を考案し、こ
れからの世代が「欲しい」と感じる
商品を創り出そう、という取り組
みです。

吉田〇「まず何か作ろう」
と、経法祭で販売するリーズナブル
な商品の企画開発に取り組みまし
た。アンケートなどの調査結果をふ
まえ、チームごとに案を出し、社長
にプレゼンを行った結果、僕たちの
チームが発案した「巾着袋にもなる
袱紗」が選ばれたんです。最終的に
商品として完成した時は、本当にう
れしかったです。実際に昨年の経法
祭で販売し、大きな反響を呼ぶこ
とができました。



“ 本 格 ” 経 営 学 部 、 は じ ま る 。 NEW FACULTY OF BUSINESS ADMINISTRATION

「第2回八尾地域クラウド交流会」では、八尾の起業家をPRするための応援ポスター制作に挑戦しました。

交流会当日はプレゼンも実施。起業家それぞれのビジネスについて、ゼミ生たちが熱弁を奮いました。

有限会社大一創芸との協働から生まれた、巾着袋にもなる袱紗。ゼミ生たちのアイデアがオリジナル商品に!

ウド交流会」での取り組みが、強く
心に残っています。このゼミに入っ
て、最初の挑戦でしたので。
高橋〇交流会の開催日が6月23
日。これにどうしても挑戦してもら
いたくて、水木さんたち今の2年生
には、吉田さんたちよりも短期間で
基礎知識の学習を進めてもらいま
した。大変だったと思いますが、その
価値はあったはずですよ。
水木〇はい。近畿大阪銀行が主催
し、経済産業省や八尾市、本学など
が共催するこの交流会では、八尾市
と柏原市の起業家によるプレゼン
テーションが行われました。その起
業家の応援プレゼンターを、私たち
高橋ゼミの学生が任されたのです。
5人の起業家それぞれを担当する
5チームに分かれ、起業家の取材も

行い、応援ポスターを制作して...
初めてのことはかりで苦労しまし
た。起業家の方と実際に会ってお話
ができたことで、大きな刺激を受け
ました。
吉田〇起業家の方々には、自らのビ
ジネスを広くPRできる大きなチャ
ンス。僕らの応援ポスターの制作に
も、率直な意見を積極的にぶつけて
くださいました。
水木〇時には厳しい意見もいただ
きました。それもビジネスと真剣
に向き合っているからこそ。私の
チームが担当したのは、助産師の経
験を生かし、産後のトータルケアや
子どもの足育相談などに取り組ん
でいる女性の起業家。八尾に産後ケ
アの場は少なく、社会的意義も高い
ビジネスに取り組まれている方なの



INTERVIEW

「テコンドー部」 第23回アジアテコンドー選手権大会で ベスト16入賞—小山海斗選手。



5月にベトナムで開催された第23回アジアテコンドー選手権大会に、本学テコンドー部の小山海斗選手が男子68kg級の日本代表選手として出場し、ベスト16入賞を果たしました。

6才からテコンドーを始めた小山海斗選手は、高校2年生の時に全日本選手権大会で優勝。

「実績あるコーチの指導のもと練習に打ち込める環境がある」と考えて本学に入学。1年生の9月に出場した全日本学生テコンドー選手権大会、1月の全日本テコンドー選手権大会とともに優

勝し、アジアテコンドー選手権大会の日本代表に選出されました。各国強豪選手が出場する今大会で、小山海斗選手は1回戦を突破した後、2回戦で韓国代表選手と対戦し、惜しくも敗退しました。

「高校時代に韓国入選手と対戦した時より、差は縮まりました。課題はフィジカル面。今後は筋トレも重視し、世界の選手に負けない筋力を作りたい。2020年の東京五輪出場が大きな目標。そこに近づく練習や成果を重ねられていると、実感しています」。

みなさんも、応援をよろしくお願いします！

【テコンドー部】
アジアテコンドー選手権大会／ベスト16
小山海斗さん
経済学部 経済学科 2年生
神奈川県
クラーク記念国際高校
横浜キャンパス出身



INTERVIEW

新入部員&新サークルから一言「目標に向けて頑張っています！」

新入部員 (マネージャー)

〔陸上競技部〕

自主的に頑張る選手たち、一人ひとりをサポート。

短距離、長距離、幅跳び等、競技別に選手たちが自主的に計画を立てて練習に励んでいます。その頑張りを支えたくて、私はマネージャーに。まだ大会などでの実績はありませんが、結果が出せるようみんなで努力を重ねます！

奥山 知宙さん
国際学部 国際学科 1年生
福井県 北陸高校出身



新入部員

〔囲碁部〕

1部リーグ復帰に向け、新たな仲間が欲しい！

昨年、関西リーグの1部から2部に降格。その悔しさを晴らそうと意気込む先輩たちと、1部昇格を目標に頑張っています。部員数は3名。少数精鋭ですが、団体戦では不利なので、初心者でも入部希望者は大歓迎です！

河野 智洸さん
経済学部 経済学科 1年生
大阪夕陽丘学園高校出身



新サークル

〔百人一首かるた同好会〕

競技かるたが大好き！楽しく練習しています。

高校のかるた部と一緒にいた友だちと「大学でも競技かるたを」と考え、昨年6月に立ち上げたサークルです。現メンバーは7名。みんなで学生選手権出場をめざしてレベルアップに励み、私自身もまずはC級への昇級が目標です。

森岡 朋美さん
法学部 法律学科 2年生
大阪市立南高校出身



2018年度第1回 女子ワークショップ・交流会を開催。

6月15日(金)、八尾駅前キャンパス2階「学生プラザ」にて、今年度1回目となる女子ワークショップ・交流会が開催されました。学部・学科・学年を越えて集まった参加者たちが、初めての「ハバリウム作り」を体験し、交流を深めました。

今回のワークショップは、女子学生の充実したキャンパスライフを実現することを目的に開催。昨年度の参加

者からの意見を参考に、近年、女性を中心に人気の「ハバリウム」体験を実施しました。参加者からは、「簡単に綺麗で可愛いハバリウムが作れて楽しかった」「自分で作ったものを飾ったりできるのが嬉しい」「女子力上がる企画で楽しかった、次回も参加したい」などの声が寄せられました。



り上げ、「楽しみながら友だちづくり」をテーマに、定期的な開催を予定していますのでぜひお気軽にご参加ください！

田畑理一学長が北京大学の 創立120周年記念式典に出席。

本学の海外協定校である北京大学が2018年に創立120周年を迎え、その記念式典に本学代表として田畑理一学長が出席しました。

同記念式典は本学の他、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学、東京大学等世界44カ国116人の大学総長・学長、中国130大学の総長・学長が出席し、5月4日から5日の二日間わたって開催。釣魚台国賓館での記念行事では、本学田畑学長が祝意を伝え、その後記念品を贈呈し、林建華北京大学総長から謝意が伝えられました。



1986年に学術交流協定を締結した本学と北京大学は、爾来約30年にわたって多様な分野で交流を深めてきました。両大学はこの度の記念行事を契機に、友好関係をさらに発展させることを確認しました。

▶ 2018年度春学期 | 体育会・文化会クラブの主な活動戦績

クラブ名	大会名	競技成績
卓球部(男子)	関西学生リーグ戦1部 関西学生卓球選手権大会	2勝5敗 最終順位6位(1部残留) シングルスベスト16入賞1名 ダブルスベスト8入賞1組
軟式野球部	西部大学軟式野球リーグ戦1部	5勝4敗1分 最終順位3位
硬式野球部	阪神大学野球リーグ戦2部東	4勝6敗 最終順位5位
ソフトボール部(男子)	関西学生ソフトボールリーグ戦2部 2部・3部入替戦(対兵庫県立大学)	0勝4敗 最終順位5位 勝利(2部残留)
ソフトボール部(女子)	関西学生ソフトボールリーグ戦3部C 3部順位決定戦	4勝0敗 最終順位1位 2勝2敗 最終順位5位
バレーボール部(男子)	関西大学バレーボールリーグ戦3部	3勝4敗 最終順位5位
バレーボール部(女子)	関西大学バレーボールリーグ戦7部B	1勝2敗 最終順位5位
バスケットボール部	関西学生バスケットボール選手権大会 大阪学生バスケットボール選手権大会	2回戦敗退(予選トーナメント) 予選リーグ敗退

クラブ名	大会名	競技成績
サッカー部	関西学生サッカーリーグ戦3部B 関西学生サッカー選手権大会	4勝6敗1分 最終順位8位 2回戦敗退
バドミントン部	関西学生バドミントンリーグ戦5部B 5部順位決定戦(1〜3位) 関西学生バドミントン選手権大会	2勝1敗 最終順位1位 最終順位3位 シングルス3回戦進出2名、ダブルス4回戦進出1組
空手道部	関西学生空手道個人選手権大会 全日本学生空手道選手権大会 西日本大学空手道選手権大会	男子組手・67kg級準優勝 個人戦4回戦進出1名 男子団体組手ベスト8入賞
陸上競技部	和歌山県春季陸上競技選手権大会 大阪実業団対抗陸上競技大会	800m走(予選)4着 走幅跳び決勝進出1名
囲碁部	関西学生囲碁春季リーグ戦2部	3勝2敗 最終順位3位(2部残留)
将棋部	関西学生将棋春季一軍戦B級	2勝3敗 最終順位4位(B級残留)

大学事業計画・大学予算収支

2018年度大学予算及び事業計画が3月26日理事会において承認可決されました。ここに、その概要を公表いたします。

本学は高等教育機関に課せられた社会的使命を果たすため、各学部学科・研究科の養成する人材像の実現に向け、事業計画を着実に実行してまいります。

本学の教育研究活動に、引き続き、ご理解を頂きますようお願い致します。

1 収容定員増並びに経営学部設置

○2019年度からの収容定員増並びに経営学部開設に向けた準備を着実にまいります。

2 学生募集

○2019年4月に開設する経営学部を始め、各学部学科及び大学院経済学研究科の教育特色を訴求するための広報を充実させます。

3 経済学部

○新設する経営学部における教育目標と養成する人材像の実現に向けて、教育特色を発揮し、経営学に関する本格的な教育を展開できるよう、教育課程の開設準備を進めます。

○経済学部における新たな特色ある教育課程の構築に向けた検討を進めます。

○専門教育の質保証に向け、演習の役割を高め、学士課程教育の重要な柱としての教育機能を向上させます。

○学生研究発表大会を充実させ、4年次の卒業論文又は卒業レポートの質の向上に向けた指導を強化します。

○学生の就業力の育成、キャリア支援に尽力し、経済学部に対応しい進路を実現します。

○留学生の学修・進路就職に向けた指導を充実させます。

4 法学部

○法学部の「学位授与の方針」から導いた各年次の教育目標の達成に

向けて、教員が相互に教育手法を磨き、教育力と教育実績の向上を図ります。

○中長期的な視点に立つて、現在の4コース16モデルの教育内容を2019年度に向けて見直し、より魅力的で特色あるコース制の実現を目指します。

○公務員志望学生の希望進路の実現に向け、受験者の拡大を図るとともに、教育技法の開発と実践により、公務員を輩出するための教育を強化します。

○法科大学院及び法律専門資格合格実績の向上に向け、正課及び正課外授業の充実と個別指導の強化を図ります。

○「宅地建物取引士」の資格取得に向け、正課授業・専門演習での指導を充実させ、課外の資格講座との連携を強化します。

○法学部3年次の教育目標をもとに、演習の組織的運営を強化し、キャリアを見据えた指導と学生研究発表大会の充実を図ります。

5 国際学部

○「学位授与の方針」で定めた資質

と能力を有するグローバル人材の育成に向け、1年次、2年次教育を充実させると同時に、3年次教育を円滑に実施します。

○学生の希望進路につながるよう、国際コミュニケーション、グローバルキャリアの2つのコース特性に応じた教育を行うとともに、幅広い業界理解と多様な職業選択につながる国際キャリア教育を実施します。

○海外体験・留学プログラムを安全かつ着実に実施し、学生のグローバル化への対応力を段階的に強化して、英語運用能力の育成、異文化に対する感受性と理解の深化を図ります。

○国際学部における英語教育を着実に実施し、留学海外体験と組み合わせ、国際通用性の高い英語運用能力の向上を図ります。

○留学生在が段階的に日本語関連資格を取得できるよう、指導を強化します。

6 教養部

○幅広い教養と異文化理解・多文化共生を通じた豊かな人間性と国際感覚を育むための教養教育の整

備・充実を進めます。

○各学部学科の「学位授与の方針」・「教育課程の編成・実施の方針」を支える、質の高い教育を実施します。

○初年次においては、英語、留学生日本語・情報、数的処理、文章読解・作成の重点分野を一層強化し、学部特性に応じた学修モチベーションの形成と学生の汎用的技能の養成に努めます。

7 大学院経済学研究科

○高度の専門的職業人養成をめざして、大学院経済学研究科の「学位授与の方針」・「教育課程の編成・実施の方針」に基づき、教育研究指導を充実させ、修士論文の質向上を図ります。

○学生の希望進路の実現に向け、正課授業と連動したキャリア支援体制の整備充実を図ります。

○業界別・学部特性を反映したキャリア教育と就職指導を充実させます。

○経営学部設置を見据え、経営学科4年生の希望進路の実現に万全を期すとともに、2018年度に就職活動を開始する国際学部1期生への就職支援を強化します。

○就活実践キャンプの質的・量的充実を図るとともに、志望業界や学生の特性に応じて、キャリアガイダンス、筆記試験対策講座等の充実

を図ります。

○安定的かつ有効な求人確保するため、企業との関係強化、会社説明会の充実を図ります。

9 資格取得支援の強化、公務員志望学生支援

○各学部学科の「学位授与の方針」・「教育課程の編成・実施の方針」に基づいた学部推奨資格を定め、Sコース（難関国家試験を目指す学生のために正課外で行われる特修講座）及び資格講座の教育を一層充実させます。

10 国際教育・交流

○学部特性と学生の希望進路の実現に適した国際教育を実施し、広い国際的視野を兼ね備えたグローバル人材を養成します。

○国際通用性の高い英語力の修得を促すとともに、国際的な教育文化の創出、海外協定校ネットワークの拡充と、国際的な教育研究・交流機会の充実を図ります。

○留学生の高度外国人人材への育成に向け、日本語力と就業力を高め

11 教育の質保証と学修支援

○各学部、教養部、大学院の特色づくり、教育の質保証に向けた教育実践と教員の教育力の向上に資するべく、授業内容と教育方法を改善し向上させるための教員の組織的な取組(FD)の推進を図ります。

○シラバスの更なる充実と活用、授業評価アンケートの改善を図り、教育の質保証に向けたFDの基盤となる授業評価と改善の実効性を高めます。

○2019年度からの収容定員増並びに経営学部開設を円滑かつ着実に進めることができるよう準備を進め、2キャンパスにおける4学部の教育体制の効果的編成を進めます。

○学生一人ひとりが成長を実感し、高い満足度で学士課程教育を修了して希望進路を実現できるよう、学生の特性に応じた学修支援を組織的に強化します。

12 学生生活の支援と課外活動の活性化

○豊かな人間性を涵養し、自立した主体として社会へ参画し、他者と協働することができるよう、課外活動等自主的活動の活性化を支援します。

○学生が安心・安全で充実した学生生活を実現することができるよう、2キャンパスでの学生サービスの向上を図ります。

13 教育・研究・校務展開のための学術情報基盤の整備

○各学部の「学位授与の方針」・「教育課程の編成・実施の方針」及び各授業の特性を踏まえ、ICT活用教育を推進し、教育実践の効果・効率・魅力の向上を図ります。

○情報化社会に対応した学術情報基盤の継続整備に向け、ICT設備機器の更新と整備を計画的に行います。

○学術情報基盤としての図書館の機能強化に向けた検討を進めます。

14 地域連携・社会協働

○八尾市等との協定の趣旨に沿って、自治体関連組織及び大阪府中小企業家同友会等との連携を通して、共同調査研究を進め、学生の自主的活動を促しながら、長期的視点に立った人材育成に資する活動を展開します。

15 施設設備の整備・利用

○在学生並びに志願者等が期待と信頼を寄せる、美観性・快適性等の向上に向けて2キャンパスの整備利用計画を推進します。

16 研究活動

○本学の研究者による研究活動を活性化させ、第10回東アジア国際学術シンポジウム開催をはじめ国際的な学術ネットワークを活用した取組を推進します。

17 教職員の業務遂行能力の向上

○教職員の業務遂行能力と専門性を実践的に育成し、校務展開力を高め、教育・学生支援の更なる充実を図ります。

2018年度 大学予算書 2018年4月1日から2019年3月31日

(単位:千円)

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	3,227,236
授業料収入	3,042,646
入学金収入	179,440
その他納付金収入	5,150
手数料収入	50,970
入学検定料収入	48,400
試験料収入	70
証明手数料収入	2,500
補助金収入	85,000
大学整備充実資金運用収入	11,200
雑収入	7,637
収入の部合計	3,382,043

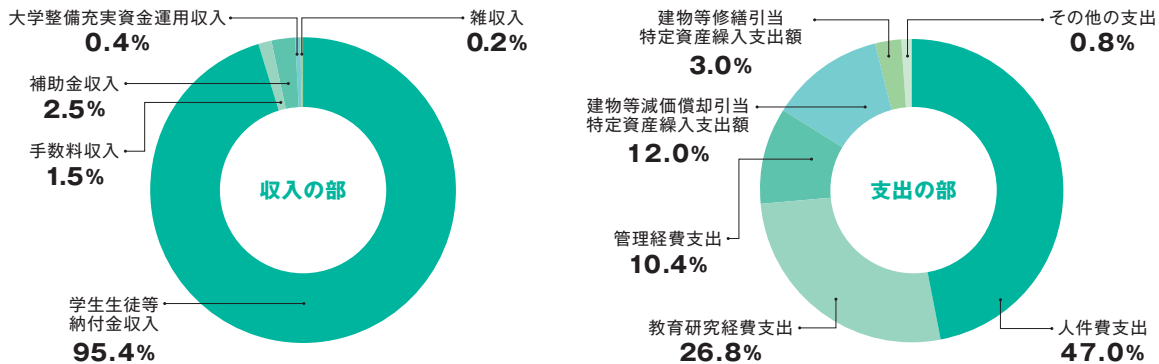
支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	1,590,208
教員人件費支出	925,696
職員人件費支出	620,846
退職給与引当特定資産繰入支出額	43,666
教育研究経費支出	904,959
報酬委託手数料支出	244,431
奨学費支出	241,097
光熱水費支出	67,141
その他教育研究経費支出	352,290
管理経費支出	351,241
報酬委託手数料支出	51,407
印刷製本費支出	61,262
旅費交通費支出	10,321
その他管理経費支出	228,251
建物等減価償却引当特定資産繰入支出額	407,007
建物等修繕引当特定資産繰入支出額	100,000
その他の支出	28,628
支出の部合計	3,382,043

※この2018年度大学予算は、本学が予算管理目的のために設定している「大学の予算」の収支を勘定科目別に表示したものです。

■ 大学整備充実資金 (2018年度期首残高) (単位:千円)

建物等減価償却引当特定資産	5,829,342
建物等修繕引当特定資産	213,088
退職給与引当特定資産	512,103
合計	6,554,533

収支構成図



2018年度
大学予算収支
概要

収入について

2018年度の収入の概要は、以下のとおりです。(金額は、全て概算額です。)

①「学生生徒等納付金収入」
32億3千万円

新入生、在学生から納めていた
だく入学金、授業料、実習費等の
学費です。本学における、主要な
財源となっています。

②「手数料収入」
5千万円

入試の検定料や成績証明書な

ど、各種証明書の発行手数料及
び、大学入試センター試験実施手
数料です。

③「補助金収入」
8千万円

私立大学等経常費補助金で
2017年度交付額を基準とし
て計上しています。

④「大学整備充実資金
運用収入」
1千万円

大学整備充実資金の運用利
息収入です。安全性と効率性を
勘案し預金や国債で運用してい
ます。

大学整備充実資金の内容は次
のとおりです

・建物等減価償却引当特定資
産(建物及び構築物の減価償
却分を積立て、建物等の建替え
や施設等の充実に活用する特定
資産)

・建物等修繕引当特定資産(長
期修繕計画に基づき、修繕費を
積立てている特定資産)

・退職給与引当特定資産(教職
員の退職金の支給のために積立

てている特定資産)

⑤「雑収入」
1千万円

科学研究費補助金(文部科学
省による研究費助成)の間接経
費その他の収入です。

支出について

2018年度の支出の概要は、以
下のとおりです。

①「人件費支出」
15億9千万円

専任教職員や非常勤講師、嘱
託職員・契約職員等に支払われる
給与、手当及び退職給与引当特
定資産繰入支出額などです。

②「教育研究経費支出」
9億円

教育、研究に直接要する経費で
あり、前項の事業計画に沿って編
成しています。今年度において主な

内容は、①各種奨学金事業に
2億4千万円、②就業力の育成・
キャリア支援事業に5千万円、③

特修講座や資格講座等の開講事
業に5千万円、④学術情報基盤の
整備事業に5千万円、⑤学生生活
の支援と課外活動の活性化事業
に5千万円、⑥国際教育事業に
3千万円、等となっています。

③「管理経費支出」
3億5千万円

教育研究活動を支える大学管
理運営上の経費や、学生募集経
費などです。

④「建物等減価償却引当
特定資産繰入支出額」、
「建物等修繕引当
特定資産繰入支出額」
5億1千万円

それぞれの特定資産の設定趣
旨に基づいて、毎年度所定の金額
を繰り入れます。

⑤「その他の支出」
3千万円

教育研究用の機器備品・図書
などの購入費です。